



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

上場取引所 東名札福

コード番号 5714 URL <http://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 政雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長 (氏名) 吉井 出

TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	328,433	10.0	23,124	41.0	25,699	43.1	16,953	74.1
25年3月期第3四半期	298,545	2.6	16,398	0.4	17,960	16.1	9,739	50.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 22,946百万円 (107.9%) 25年3月期第3四半期 11,038百万円 (118.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	57.29	—
25年3月期第3四半期	32.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	364,440	161,468	41.9
25年3月期	349,787	142,400	38.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 152,544百万円 25年3月期 133,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	426,000	1.6	30,500	24.2	33,000	21.0	19,000	24.9	64.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	309,946,031 株	25年3月期	309,946,031 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	14,003,216 株	25年3月期	13,996,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	295,946,404 株	25年3月期3Q	295,952,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は住宅投資や自動車販売などが堅調に推移しました。中国やインドなどアジア諸国は経済の拡大を続けているものの成長率は鈍化しました。欧州は景気停滞が長期化していますが、足元では債務問題が徐々に落ち着きプラス成長に転じています。一方、国内経済は、極端な円高水準の是正が定着し、また政府の経済政策効果などで設備投資が上向き、回復基調にありました。

当社グループの事業環境については、需要面では、自動車関連製品が上期から引き続き堅調に推移しました。IT・エネルギー関連製品は、多機能携帯端末や新エネルギー向けの需要が着実に伸長しました。また、産業機械向けの需要は、設備投資の回復を背景に回復基調にあります。相場環境は、銅・亜鉛価格は大きな変動はありませんが、貴金属価格が弱含みで推移し、為替は円安基調が継続しました。

当社グループは、このような状況の中、中期計画Vに沿って、市場・ユーザーの状況や変化に対応し、生産性向上・受注拡大に向けた施策を実行していきました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10%増の328,433百万円、営業利益は同41%増の23,124百万円、経常利益は同43%増の25,699百万円、四半期純利益は同74%増の16,953百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、国内の産業廃棄物発生量が横這いの中、集荷ネットワークを活かした受注や処理拠点の操業度増により、処理量を増やしました。土壌浄化は、公共投資が拡大する中で処理を増やし、海外案件についても受注拡大に努めました。リサイクルは、電子部品スクラップの海外集荷を拡大し、増集荷を図りました。また、インドネシアをはじめ東南アジアにおける廃棄物処理事業を拡大しました。

これらの結果、当部門の売上高は貴金属価格の下落により前年同期比1%減の73,055百万円となりましたが、営業利益は同74%増の7,089百万円となりました。

製錬部門

金属価格については、総じて弱含みでしたが、特に貴金属の価格が上期に下落し、その後も価格低迷が継続しました。為替については、前年度末からの円安基調が継続し、第3四半期は100円/\$台で推移しました。このような中、各製錬所の稼動は順調に推移し生産量を確保しました。また重点施策であるスズ・アンチモンなど新金属の回収強化を進めました。販売面では自動車向けの亜鉛製品が好調であり、コスト面では電力原単価や物品費の削減に努めましたが、電力代値上げの影響を受けました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比13%増の162,762百万円、営業利益は130%増の4,875百万円となりました。

電子材料部門

多機能携帯端末など I T 関連製品について市場ニーズに応える製品開発に加えて、新製品の拡販や新規顧客の獲得に努めました。半導体材料製品は、パソコンや T V 向けなどの販売は低迷しましたが、多機能携帯端末向けの需要が伸び、販売を伸ばしました。導電材料製品は、銀粉の販売が大きく伸びました。機能材料製品は、在庫調整や欧州需要の低迷により、販売量を減らしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比19%増の63,045百万円、営業利益は同7%増の5,155百万円となりました。

金属加工部門

自動車向けの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、前年度は第3四半期に落ち込みましたが、当年度は国内自動車生産が比較的堅調に推移しており、販売を伸ばしました。民生用途の伸銅品はパソコン関連の需要減が続いていますが、多機能携帯端末関連の需要獲得に注力しました。セラミックス基板は、設備投資の回復などにより産業機械向けや電鉄向けに販売を増やしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比11%増の60,469百万円、営業利益は13%増の3,975百万円となりました。

熱処理部門

熱処理加工では、国内自動車生産が比較的堅調に推移しており、自動車関連製品で受注を増やしました。また、国内工場の生産性改善による収益力強化に取り組みました。工業炉は、海外の市場拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の獲得に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比2%増の17,614百万円、営業利益は38%増の1,492百万円となりました。

その他部門

その他部門の売上高は6,640百万円、営業利益は36百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して14,653百万円増加し、364,440百万円となりました。流動資産で9,682百万円の増加、固定資産で4,971百万円の増加となります。流動資産は、原材料及び貯蔵品が7,982百万円増加しました。固定資産は、上場株式の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が6,169百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末と比較して4,414百万円減少し、202,972百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が5,551百万円減少したことなどによります。

純資産については、当第3四半期（累計）純利益を16,953百万円計上した一方で、配当金の支払いを行った結果、株主資本が13,264百万円増加しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が5,686百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から3.7%増加し41.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成25年10月11日に公表した見通しの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,163	5,489
受取手形及び売掛金	71,829	72,943
商品及び製品	20,900	19,453
仕掛品	4,294	6,644
原材料及び貯蔵品	55,087	63,070
繰延税金資産	3,287	3,153
その他	9,783	10,277
貸倒引当金	△59	△62
流動資産合計	171,287	180,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	96,511	98,909
減価償却累計額	△53,650	△56,254
建物及び構築物 (純額)	42,861	42,655
機械装置及び運搬具	203,780	208,936
減価償却累計額	△172,605	△179,095
機械装置及び運搬具 (純額)	31,174	29,840
土地	22,577	22,528
建設仮勘定	4,528	5,160
その他	12,020	12,836
減価償却累計額	△9,516	△9,936
その他 (純額)	2,504	2,900
有形固定資産合計	103,647	103,085
無形固定資産		
のれん	7,325	7,106
その他	3,891	4,501
無形固定資産合計	11,217	11,608
投資その他の資産		
投資有価証券	56,187	62,357
長期貸付金	491	616
繰延税金資産	3,976	3,039
その他	3,147	2,933
貸倒引当金	△165	△168
投資その他の資産合計	63,636	68,777
固定資産合計	178,500	183,471
資産合計	349,787	364,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,403	36,851
短期借入金	52,514	57,905
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	5,353	4,265
未払消費税等	1,748	1,314
繰延税金負債	—	2
引当金		
賞与引当金	3,088	1,710
役員賞与引当金	169	134
引当金計	3,258	1,844
その他	27,847	23,192
流動負債合計	133,125	145,376
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	44,623	37,076
繰延税金負債	2,969	3,566
引当金		
退職給付引当金	10,990	11,538
役員退職慰労引当金	613	622
その他の引当金	435	397
引当金計	12,039	12,558
その他	4,627	4,394
固定負債合計	74,260	57,595
負債合計	207,386	202,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	68,180	81,450
自己株式	△5,688	△5,694
株主資本合計	125,291	138,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,990	12,841
繰延ヘッジ損益	89	△364
為替換算調整勘定	△777	1,511
その他の包括利益累計額合計	8,302	13,989
少数株主持分	8,807	8,923
純資産合計	142,400	161,468
負債純資産合計	349,787	364,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	298,545	328,433
売上原価	260,898	283,158
売上総利益	37,646	45,275
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	2,593	2,483
販売手数料	445	425
役員報酬	932	996
給料及び手当	4,466	4,656
福利厚生費	1,181	1,244
賞与引当金繰入額	314	374
退職給付費用	452	476
役員退職慰労引当金繰入額	125	127
賃借料	525	542
租税公課	492	559
旅費及び交通費	1,045	1,104
減価償却費	529	508
開発研究費	3,404	3,615
のれん償却額	376	391
その他	4,361	4,643
販売費及び一般管理費合計	21,247	22,151
営業利益	16,398	23,124
営業外収益		
受取利息	77	96
受取配当金	453	554
為替差益	—	261
持分法による投資利益	1,730	1,508
その他	2,131	2,604
営業外収益合計	4,392	5,025
営業外費用		
支払利息	1,265	1,125
為替差損	236	—
環境対策費	634	703
その他	693	620
営業外費用合計	2,830	2,450
経常利益	17,960	25,699

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
補助金収入	10	91
受取補償金	275	83
投資有価証券売却益	—	55
固定資産売却益	88	40
受取保険金	47	18
その他	21	13
特別利益合計	444	301
特別損失		
災害による損失	162	246
固定資産除却損	238	212
減損損失	58	48
投資有価証券評価損	2,552	—
環境対策費	100	—
固定資産売却損	13	—
その他	74	23
特別損失合計	3,199	531
税金等調整前四半期純利益	15,206	25,469
法人税、住民税及び事業税	3,824	7,850
法人税等調整額	1,409	475
法人税等合計	5,234	8,325
少数株主損益調整前四半期純利益	9,971	17,144
少数株主利益	232	190
四半期純利益	9,739	16,953

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,971	17,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	702	3,405
繰延ヘッジ損益	△17	△557
為替換算調整勘定	179	1,393
持分法適用会社に対する持分相当額	202	1,559
その他の包括利益合計	1,066	5,801
四半期包括利益	11,038	22,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,839	22,640
少数株主に係る四半期包括利益	198	305

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	46,086	128,220	51,369	54,335	17,309	297,321	1,223	298,545	—	298,545
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,601	16,259	1,484	11	0	45,356	5,717	51,073	△51,073	—
計	73,687	144,480	52,853	54,346	17,309	342,677	6,941	349,618	△51,073	298,545
セグメント利益	4,065	2,119	4,828	3,510	1,081	15,605	115	15,720	678	16,398

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額678百万円には、セグメント間取引消去額655百万円及び未実現利益の調整額22百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	45,959	141,071	61,705	60,460	17,614	326,811	1,622	328,433	—	328,433
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,095	21,691	1,339	9	0	50,135	5,018	55,154	△55,154	—
計	73,055	162,762	63,045	60,469	17,614	376,947	6,640	383,588	△55,154	328,433
セグメント利益	7,089	4,875	5,155	3,975	1,492	22,589	36	22,625	498	23,124

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額498百万円には、セグメント間取引消去額547百万円及び未実現利益の調整額△48百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。